

平成29年度地方創生推進交付金事業

①おといねっふ美術工芸高等学校卒業生移住定住Uターン促進事業

P	計 画	
P l a n (計画)	おといねっふ美術工芸高等学校の卒業生をUターンさせ、移住定住に繋げる環境を整えるため、働く場の確保、働く場づくり支援、起業化を推進する。在校生に対する豊かな学習環境の充実を図り地域住民との交流を促進させ、第2の故郷音威子府に就職等を斡旋する。	
D	実 施	
D o (実施)	<ul style="list-style-type: none"> ・Uターン希望者個別相談（札幌市） 執行額 25,030円 ・アートインレジデンス推進事業（彫刻の館:H29.09） 執行額 1,262,679円 ・大学ゼミ誘致事業（H29.07～08） 執行額 813,642円 	
C	評 価	
C h e c k (評価)	<p>DM発送については、対象住宅確保困難な状況のため見送り。</p> <p>地域づくりマネージャーの採用費用執行と地域づくりマスタープランの策定については、平成28年度の地方創生推進交付金にて執行予定であった「交流拠点施設」の整備が、当初の計画とおりに行えなかったため執行することが困難と判断し取りやめとした。</p> <p>しかし、他の事業執行により、移住・定住に向けた卒業生等へのPR効果は図られたと判断できます。</p> <p>（※詳細評価は別紙資料1）</p>	
A	改 善	
A c t i o n (改善)	<p>Uターン者の住宅確保について検討する。</p> <p>DM発送及び相談会については、引き続き平成30年度に実施予定。</p> <p>引き続き、アートインレジデンス推進事業を執行する。</p> <p>拠点施設については、対象家屋等を再度検討する。</p>	
契約額 事業始期 事業終期 等	事業費（基礎交付額）	予算額7,150,000円 執行額3,575,000円 （予算額7,150,000円 執行額2,101,351円）
	事業開始	平成29年 4月 1日
	事業終了	平成30年 3月31日
	政策5原則との関係①将来性②地域性③直接性④新規性	

本事業の重要業績評価指標（KPI）

指標	卒業生のUターン・定住促進	指標値	就業に関わるUターン者数 5年間で5人
指標		指標値	

本事業の重要業績評価指標（KPI）平成29年度実績

指標	卒業生のUターン・定住促進	指標値	平成29年度 3名 (高校寮・木遊館・診療所)
指標		指標値	

事業達成のために取り組んだ事業

①Uターン希望者個別相談	②アートインレジデンス推進事業
③大学ゼミ誘致事業（東海大石塚ゼミ）	

交付決定額3,575,000円－交付額1,050,675円＝2,524,325円
 （事業予算額7,150千円×1/2） （事業執行額2,101,351円×1/2） （不要額）

未執行理由：上記による

◆地方創生推進交付金事業（平成29年度）

基本目標・具体的な施策	当初申請額	実績額	未執行額
③人の流れの促進	3,150,000 円	2,101,351 円	1,048,649 円
卒業生Uターン促進DM郵送	50,000 円	0 円	50,000 円
Uターン希望者相談会（個別相談）	100,000 円	25,030 円	74,970 円
アートインレジデンス推進事業	1,500,000 円	1,262,679 円	237,321 円
大学ゼミ誘致事業（東海大石塚ゼミ）	1,500,000 円	813,642 円	686,358 円
○基本目標以外	4,000,000 円	0 円	4,000,000 円
地域づくりマネージャー採用費用	1,000,000 円	0 円	1,000,000 円
地域づくりマスタープラン策定	3,000,000 円	0 円	3,000,000 円
合 計 （下段括弧内は補助額）	7,150,000 円 （3,575,000 円）	2,101,351 円 （1,050,675 円）	5,048,649 円 （2,524,325 円）

■具体的な施策及び事業の取り組み内容

★総合戦略の基本目標 3

○高等学校を軸とした人の流れの促進

1. 卒業生Uターン促進ダイレクトメール郵送

未執行～対象住宅確保困難なため見送り。

2. Uターン希望者相談会（個別相談）

期 間 11月 1日

会 場 札幌市

対 象 高等学校卒業生と面談

※事業費 旅 費：25,030 円

3. アートインレジデンス推進事業

【おといねっぶ美術工芸高等学校卒業生展】 工芸・絵画・版画 13名出品

期 間 9月12日～25日

会 場 高橋昭五郎彫刻の館

※事業費 補助金：1,262,679 円（開催補助金）

内訳 補償費 1,420 円（出品者けが補償：保険適応外）

旅 費 694,468 円（出品者旅費）

需用費 475,547 円（材料費・チラシ作成等）

役務費 91,244 円（送料・振込手数料等）

資料 1

4. 大学ゼミ誘致事業（東海大石塚ゼミ：石塚教授及び生徒10名）

期 間	7月1日～2日 フィールドワーク (役場職員説明・村内現地調査・村民運動会にて村民インタビュー)
	8月7日～9日 制作・提言 (天塩川温泉にて提言制作・音威子府村公民館にて村長ほかへ提言)
会 場	音威子府村役場・地域交流センター・天塩川温泉・音威子府村公民館
※事業費	補助金：813,642円（開催補助金）
内訳	旅 費 504,390円
	需用費 62,196円（事務用品等）
	役務費 1,896円（送料・振込手数料等）
	賃借料 245,160円（PC等レンタル）

★基本目標以外

1. 地域づくりマネージャー採用費用

未執行～平成28年度の地方創生推進交付金にて執行予定であった「交流拠点施設」の整備が、当初の計画どおり行えなかったため執行することが困難と判断し取りやめとした。

2. 地域づくりマスタープラン策定

未執行～「1. 地域づくりマネージャー採用費用」に同じ

■事務局の評価

アートインレジデンス推進事業としては、2年目を迎え出品者が前年より3名増え13名となった。今も継続して作品制作を続けている卒業生が村の魅力を再認識され、また、見学者も出品者の友人が多く、Uターンや移住定住につなげるきっかけ、人の流れを作ることができた。また、展示会場では部活動として作品見学に訪れた現役高校生と、出品者である卒業生との意見交換も行われ、現役高校生の作品づくりに影響を与えているものと考えられる。

大学ゼミ誘致事業では、本村に訪れて活動された以外で大学キャンパスにおいても教授ほか学生が会合を持ち提言に向けた活発な議論が行われてきている。村長提言には有識者会議委員も参加され、デザインを通じた村づくりを今後参考にしながら展開することが望まれる。

Uターン希望者の個別相談については、具体的な要望があり出向いた。美術関係で村の地域おこしができないかという思いもあり、今後さらに意見を伺いながら対応していく。

Uターン促進ダイレクトメール郵送については、対象住宅の確保が困難な状況もあり見送った経緯があるが、状況が解消し次第展開していくことも検討している。

地域づくりマネージャー採用に向けた費用と地域づくりマスタープラン策定については、当初予定していた「交流拠点施設」の整備が行えていない現状から取りやめとした。

平成29年度事業としては、当初計画どおりに執行できない状況もあったが、Uターンした卒業生の数は指標値の数値を達成していることから、今後においても丁寧な事業計画・執行が必要と判断する。

